

企業最前線

BUSINESS FRONT LINE

食肉加工業界向け管理システムの
販売強化で、年商20億円を目指す

株式会社システムライフ

(法人番号：8290001007999)

各種システム開発を手がける（株）システムライフ（福岡市中央区）は、積極的に大型開発案件を受託することで実績を重ねてきた。近年は九州や関東地区を中心に食肉加工業界向けの管理システム販売にも注力している。

潤沢なキャッシュを背景に大型案件を受注

同社は、主に企業の基幹業務システム開発を手がけている。受注案件は、入出荷検品や在庫管理に必要な「物流倉庫システム」をはじめ、コールセンターから物流・経理管理をサポートする「通信販売システム」まで多岐にわたる。なかでも大型案件にも対応できるのが同社の強みだ。大型案件の多くは開発期間が長く、中小企業にとっては資金的な問題から受注を断念せざるを得ないのが実情だが、同社は大型案件にも耐えうるだけの内部留保を蓄積している。また、自社ビルのため家賃等の固定費や首都圏と比べると人件費が抑えられることなどから、大手よりも安価で開発可能という。

受注から入金までの業務をパッケージ化

近年は、食肉加工業界向けのパッケージソフト「SmartBPC」の販売に力を入れている。同システムは、食肉業界の流通過程を知り尽くしたエンジニアが開発に携り、「Beef・Pork・Chicken（BPC）」の各食肉に対応。受注から入荷、加工、出荷、請求、入金までの一連の業務パッケージソフトで、同様のシステムをパッケージ化しているベンダーは少ないという。

同システムでは、入荷時に畜種・格付けなどの商品属性を登録したバーコードラベルを商品に貼付し出荷まで一元管理する。ラベル貼付作業が必要になるが、出荷や定期棚卸し作業の負荷が大幅に軽減される。在庫管理が適正化されることで余剰在庫を抱えることもなくなり、収益の改善につながるという。

オンライン商談で商圏の拡大を目指す

同社は、自社パッケージソフトの販売を九州と



リニューアルしたHPのトップ画面

東京支店のある関東地区を中心にテレアポや訪問営業でおこなってきた。新型コロナ感染拡大以降は対面営業が難しくなり、今年4月にオンライン商談を開始した。過去にはホームページを見た東北や北海道の企業からの引き合いもあったそうだが、交通費等の経費面であまり効率的でなかったことから、受注を断ることがあったという。代表の上村氏は「コロナ禍のなか、オンライン商談を開始したことで、遠隔地の企業ニーズに対応することが可能となった。これを機に『SmartBPC』を中心とする基幹業務システムの提案を全国に広めていきたい」と話す。

その間の今年3月にはホームページをリニューアル。業界別の導入事例の発信やソリューションビジネスの展開などで受注につなげている。今後は、採用強化による人財確保やウェブマーケティングにより「SmartBPC」の販売を強化し、3年後をメドに年商20億円を目指す考えだ。

会社概要

商 号：株式会社システムライフ
TDB企業コード：800407801
所 在 地：福岡市中央区那の津3-14-14
代 表：上村 始氏
資 本 金：1000万円
電 話：092-771-5176
設 立：1983年5月
事業内容：ソフトウェア受託開発
U R L：<https://www.syslife.co.jp>